

利用適正化計画におけるモニタリング計画の実施状況について

知床五湖利用調整地区の運用方針を定めた利用適正化計画では、「利用の調整の効果について指標を定めてモニタリングを実施し、その結果を評価し、目標の達成状況に応じて、本計画を適切に見直していくこと」としている。実施計画に基づき 2022 年度の調査を実施した。

◇利用適正化計画の目標が達成されているか評価するための評価項目は以下の通り。

- I 利用による自然環境への影響を最小限とし原始的な自然景観と生態系が保全されていること
- II 安全性の確保を前提に、利用の質が向上し、観光振興や地域振興に寄与しつつ、利用者の満足度が向上していること

評価項目	モニタリング項目	調査手法	評価指標	実施頻度	実施主体	2022 ^{*1}	2023 (予定)	2024 (予定)	備考
I	①ヒグマの行動と遭遇状況	ヒグマ目撃アンケート	目撃件数や目撃場所と距離 識別個体の組数と行動段階等	毎年	知床財団	○	○	○	
		引率者CSシート				○ ^{*2}	○	○	
		トラップカメラによる自動撮影				○ ^{*3}	○	○	
	②遊歩道と周辺植生の状態変化	植生・歩道状況調査(外来生物含む)	種構成(外来生物含む)、被度等	3年	環境省	○			過年度の調査地点の見直し 湖面含む
③遊歩道の静寂性の保持	アンケート調査	混雑度合い等	毎年	環境省	○	○	○	小ループ試行事業 利用者の満足度調査と兼ねる	
I・II	④利用者による問題行動 危険事例や被害の発生状況	引率者、現地職員からの聞き取り	人による問題行動の件数と内容 クマによる人身・物損被害の発生件数等	毎年	指定認定機関	○	○	○	
		五湖フィールドハウス記録				○	○	○	
II	⑤利用者数の変化	駐車台数、利用者カウンター調査等	来園者数、コース別利用者数等	毎年	公園財団・環境省	○	○	○	
	⑥遊歩道の供用状況	指定認定機関実績	利用期別の開閉時間や日数等	毎年	指定認定機関	○	○	○	
	⑦利用者の満足度、制度認知状況	利用者アンケート調査 (利用調整地区・ヒグマ活動期)	満足度、再訪意欲、事前認知等	毎年	環境省	○	○	○	ガイドの星評価、投稿数は削除
利用者アンケート調査(高架木道他)		3年		環境省			○		

*1 今年度実施した調査項目は赤で塗りつぶし

*2 ヒグマの行動と遭遇状況のモニタリング実施結果については別紙 1 を参照

*3 遊歩道と周辺植生の状態変化のモニタリング実施結果については別紙 2 を参照